

～毎日図書室へ行こう♪～



今月のおすすめの本



「クリスマスキャロル」

ドケチで有名な金持ちスクルージの前に3人のクリスマスの精霊がやってきた。過去・現在・未来の精霊がみせる悲しくも希望にあふれる世界とは…? 幸せはいつも自分の心が決める。世界一有名なクリスマス

紅葉を終えた木の葉が舞い落ち、冬の訪れの準備を感じます。今しか感じられない自然の美しさを見ると、あたたかい気持ちになります。今年も残りわずかとなりました。1年が過ぎるのは本当に早いとしみじみ感じます。12月はクリスマスもあって、イルミネーションも綺麗で心が弾みますね。図書室もクリスマスの飾り付けをして、みなさんが来てくれるのを楽しみに待っています。

10月・11月の貸出し冊数

クラス	冊数	クラス	冊数	クラス	冊数
1年1組	23	2年1組	10	3年1組	23
1年2組	16	2年2組	20	3年2組	35
1年3組	71	2年3組	1	3年3組	8
1年4組	78	2年4組	5	3年4組	48
合計	188	合計	36	合計	114



「片付く 収納&インテリア」

「片付ける気持ちはあるけれど、まだ片づけを終わっていない人」に悩みを解決させながら片付けをしていく本です。服のたたみかたから、クロゼット・キッチン・押入れの収納法まで、イラストを使ってわかりやすく解説してあります。大掃除をする前にも読んでみてはいかがでしょうか？

進学・卒業までにたくさんの本と出会ってほしいと思います。

～冬至～



12月22日は冬至です。冬至とは1年で一番で最も風が短く、夜が長い日です。また、この日を境に日が長くなっていくため、冬至を太陽が生まれ変わる日ととらえられています。

日本では冬至に「ゆず湯」に入って「冬至かぼちゃ」を食べる風習があります。冬至には「ん」のつくものを食べると「運」が呼び込めるといわれています。にんじん、だいこん、れんこん、うどん、ぎんなん、きんかん、なんきん(かぼちゃ)…など「ん」のつくものを「運盛り」といって縁起をかついでいたそうです。

「なんきん」「れんこん」「にんじん」「ぎんなん」「きんかん」「かんでん」「うどん(うどん)」を冬至の七種(ななくさ)と言うのはなぜでしょうか？ 答えは図書室まで(^ ^) ☆

冬至にゆず湯に入って無病息災を願い、クリスマスにはケーキを食べてプレゼントをもらって、31日に除夜の鐘を聞いて108の迷いの心を鐘の音と共に打ち払い、新しい年を清らかな心で迎えるという、なんでもアリの日本独特の文化を楽しみましょう♪



「美文字のすすめ」

美文字とは、ただお手本通りではなく、書き手の個性がにじみでるその人だけの文字。お手本なし、なぞり書き不要。読むだけで自分の文字がもっと素敵になる近道の本です。今年は、手書きで年賀状を出してみませんか？

延滞している人は返却を！

本を延滞している人に、督促状を出しました。届いた人は早めに返ししょう(^ ^) 延滞している人は冬休みの貸出しはできませんので、返却してから借りるようにしてください。紛失の場合は弁償となりますので、申し出てください。また、本を借りる場合は、必ず貸出処理をしてから図書室を出るようにしてください。可書をつがやき。。。

先週は保育所のお遊戯会でした。お兄ちゃんは、関ジャニの曲にあわせてかっこいいダンスに側転、合奏に合唱、浦島太郎の劇にと上手に頑張っていました。娘は、歌の最中に衣装を脱ぎだしたり、ダンスの時には身動きひとつせずじーっと立っていました。あげくのはてには、ペアの子が手を繋ごうとすると、そっぽ向いてしまうという様。ビデオ撮影したものの静止画でした。娘よ、来年は動いてくれ…。

素敵なおクリスマス、そしてよい年をお迎えください☆